

ロマンとロマンス語

太田 強正

もう何年ぐらい前からであろうか、「男のロマン」とか、「ロマンを求めて…」などという表現がさかんに使われるようになった。この「ロマン」とはいったい何であろうか。この語にあたりそうなのは、フランス語の roman、ドイツ語の Roman であるが、共に「小説」の意で、上記の日本語の表現にぴったりしない。恐らくこの「ロマン」なる語は romanticism の略で、「空想」、「夢」ぐらいの意で用いられていると思われる。

さて、この roman も romanticism も romantic も、永遠の都 Roma を語源としていることを御存じであろうか。

ローマ帝国の公用語はラテン語であったが、書き言葉と話し言葉ではかなりの違いがあった。この話し言葉（「俗ラテン語」と言う）の方から、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ルーマニア語などが出た。そしてこの俗ラテン語で話すことを、ゲルマン人などの外国人の言

葉で話すことに対して、「ローマ風の言葉で (romanice) 話す」と言った。romanice は副詞であるが、名詞として言葉そのものを意味するようになった。（語形は、アクセントのかかる音節の次の音節の母音 i が脱落して romance となった）

後にこの言葉で大衆向けの冒険譚や恋愛譚が書かれるようになり、そこから現代我々が言うロマンスの意味が生まれた。

ここまで話しをしてくると、上記のポルトガル語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ルーマニア語などをなぜロマンス語と呼ぶのかは説明の必要がなくなったであろう。

「ロマン」とは誰が言い始めたかは知らないが、その不正確きわまりない用法にもかかわらず、日本人の語感に不思議にマッチし、誰もその意味をうるさく詮索しないで使っているように見える。言葉というものは所詮その様なものかも知れない。

サラマンカ大学夏期講座について

大林 文彦

私は今年度サラマンカ大学夏期語学研修に参加した本学研修生を引率・同行したが、昨年に学術協定を結んだサラマンカ大学の、この夏期講習について、以下に紹介したい。

さて、このヨーロッパの名門校（1218年創立）の夏期講習は、1963年より開設されており、今年で満25年になるのだが、正式な名称は同大学国際コースであり、通常7月から9月の三ヶ月間、各一ヶ月単位で開講されるものである。この内、8月がもっとも多くの受講生が集まってくる。受講

生は、ヨーロッパ各国とアメリカが主で、それに最近では日本からも参加するようになってきた。

この夏期講習の内容についてであるが、スペイン語・スペイン文化に関する諸コースは、大別すると、三つのコースに分けられる。即ち、初心者向けのコースと中級者向けのものと同級向けのそれである。初心者向けのコースは、スペイン語・同文化コースとスペイン語コースとがあり、この二つのコースとも内部でさらに、初級から上級まで、受講者のレベルに応じた小人数の諸クラス

に分けられている。本学の学生たちが受講したのは、これらのコースである。

上級向けのコースとしては、スペイン語教員のためのコースと、スペイン言語学高等コース(Curso Superior de Filología Española)とがある。前者は、スペイン語教授法・文法の諸問題はもちろん、スペイン言語地図・現代政治・文化の諸問題をも含む高度な内容を各専門家が扱うものである。

後者は、今年度は7、8月に開講され、月当たり60時間、週15時間の構成となっていた。内容は、各週ごとに1テーマをめぐる講義と討論であり、ちなみに8月のテーマは、「ブニエール・ダリ・ロルカ・アルベルティ：スペイン・シュルレアリズムの一章」、「フーリオ・コルターサル」の文学作品、「19世紀末小説におけるガルドス」、「15世紀の冒険と紀行に関する叙述」の四つであった。このコースは、由緒ある大学本館内の、サラマンカと深く結ばれた哲人ミゲール・デ・ウナムーナを記念した講堂で開講され、受講料は、一ヶ月約4万2千円、一週間なら約1万4千円である。

例えば、「コルターサルの文学作品」の場合を見てみると、スペイン国内の専門家・研究者をはじめ、S・ユルキエヴィチ（パリ大学）、J・アンドルー（トゥルーズ大学）やM・ベネデッティ（作家）などの著名な人々が、各2回ずつ講演と討論を行い、内容の濃い、教えられる所の多い時間であった。

夏とは言え、朝は肌寒いなかを底冷えのする講堂で講師を待ち受けてから、6、70名の熱心な受講生とともに、こうした時間を享受するのは、一つの快楽と言えるだろう。サラマンカ大学の学寮は、この間、受講生に解放され、四週間の料金が個室・三食付で約4万9千円である。ヨーロッパからの年配の人々などが、ヴァカンスがてら学寮に滞在し、いずれかのコースに通い、われわれや若い人たちと交流している姿もよく見られた。

専門家でなくても、こうした場所、こうした機会に、スペイン文化・スペイン語を学ぶのもひとつの望ましい方法と思う。中世の雰囲気をよく保っているサラマンカは、じつに格好の環境を提供してくれている。

第97回日本言語学会大会(10月22、23日、於神戸外国語大学)

伊藤 克敏

—設立50周年記念—

1938年に新村出氏を会長として日本言語学会が設立されてから半世紀が経ったのを記念して、初日に式典が行われた。

まず、日本音声学会会長の平山輝男都立大学名誉教授より祝辞があり、続いて元会長で文化勲章を受章した服部四郎東大名誉教授の「言語の構造と体系」と題する記念講演が行われた。子どもの言語習得に関心を持つ氏は、先ず子どもは、概念(意味)を習得し、次いでそれをことば化する、という認知発達優先の考え方を打出した。また、アンカラ在住の12歳のお孫さんが夏休みで日本に滞在した際、日本語を教えたが「いただきます」「ありがとうございます」といった定型表現しか出なかった。しかし、アンカラに帰ってから「違うよーだ」「何だよー」「うるさい」といった感情表現や、「いたくない」「ちょっと待って」「お腹がすいた」

等、かなり多くのことばが出てきた、という報告は興味深かった。言語習得の初期に、言語能力を養成する「沈黙の期間」(silent period)のあることが最近、米国の第二言語習得の研究で明らかにされており、その実証となる報告であった。

続いて、「中央アジアの文献言語と言語接触」と題して四人によるリレー講演があり、チベット語、ソグド語(死語)、ウィグル語、蒙古語の文献を通して中央アジアの言語間の言語接触、借用語等についての興味深い発表があった。

従来は珍しい言語の記述研究についての研究発表が主であったが、近年、言語障害、言語習得、英語学、社会言語学等、多様化していることは好ましい傾向である。特に、敬語行動に関する日本語、韓国語の比較、タイ、中国、アメリカ等、国際比較の発表は興味深かった。

来年度の春季大会(6月上旬)は本学で開催さ

れることになり、筆者は大会運営委員長として役員会と懇親会で挨拶をさせられた。所員諸氏の御

協力を切にお願いする次第である。

第24回国際心理学会に参加して

水野 晴光

第24回国際心理学会 (The 24th International Congress of Psychology) が去る 8 月 28 日より 9 月 2 日までオーストラリアのシドニーで開催された。約 60 カ国より 3000 余名の正式参加者に加えて相当数の当日参加もあり、オペラハウスで行われた開会式には会場に入れない人も出たほどで、連日盛況を極めた。以下その報告をかねて、私の雑感を記しておきたい。

研究発表は 8 月 29 日 (月) から 9 月 2 日 (金) の 5 日間に集中し、5 会場に分かれて同時進行した。全日程で 165 項目のもとに約 24000 の発表が行われた。筆者の聞きたい発表が同じ時間帯に集中していたりして、幾つかを断念せざるをえないケースもあったが、短時日にこれだけ盛り沢山の講演発表を消化するためにはやむをえないことであらう。

正式参加者は主催国のオーストラリアが 785 名、次いでアメリカが 722 名で群を抜き、西独の 203 名、日本の 180 名、カナダの 155 名、英国の 135 名が目立った。地域別ではヨーロッパ諸国は殆んど参加しており、アジア地域では、日本、中国、台湾、香港、インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイ、インドなどが参加した。南北アメリカからは、合衆国、カナダの他にキューバ、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、ペルーなどの参加があった。アフリカ諸国からの参加は最も伸びず、エジプト、ケニア、ナイジェリア、南アフリカ、ジンバブエ、ザンビアなどの数カ国にとどまった。オ

セアニア地域では、フィジーからの参加が目にとまった。

研究発表では Cognitive Psychology 関係の論文が群を抜いて多く、次いで Clinical Psychology や Developmental Psychology 関係の論文が際立って多く、現在の心理学研究の動向が伺われる思いがした。他に 100 本以上の論文発表が集中した分野は、Health Psychology, Social Psychology, Industrial / Organizational Psychology 及び Comparative Psychology / Animal Behavior 等であった。

講演や討論の中で、さらに閉会後のコンベンション・ツアー等を通して多くの会員と親睦の機会をもつことが出来たことは、何よりの思い出となった。殊にモナッシュ大学、テキサス大学、スタンフォード大学、カリフォルニア大学の教授等と麗沢のちぎりを誓い合えたことはまたとない大きな収穫であった。

今回の各セッションを通して概観すると、余り批判的な質問は出されなかった。これは国際関係を配慮してお互いに労り合っていたためと思われる。しかし各国の研究者がそれぞれの地域の実状に応じた研究成果を一堂に会して聞くことが出来たため、国際的な比較がその場で可能になり大変興味深かった。

次回は 1992 年、開催地はベルギーのブリュッセルと決定した。わが国からの参加がいっそう増加することを切望しつつ、報告の筆をおきたい。

第10回国際夏期記号学研究会

古岩井 嘉蓉子

1988 International Summer Institute for Semiotic and Structural Studies (ISISSS)
Aug. 2-26, British Columbia University バン

クーバー記号学会 (Vancouver Semiotic Circle) とトロント記号学会 (Toronto Semiotic Circle) の協賛の下に今年は、カナダのブリティッシュ・

コロンビア大学 (British Columbia University) に於て、第10回国際記号学構造主義の研究会が8月2日から26日まで開催された。世界各地の大学、研究所の研究者、大学院生達が参加して、学習と討論が行われた。

コースは、11種類の記号学に関するものから構成され3回 (毎週土曜日) のコロキウム及びワークショップが開かれた。

コースの内容は、デリタ (Derrida) の Deconstruction, Feminism, コンピューターと人工頭脳、認知心理学、Halliday's Functional Grammar による記号学的ディスコース分析、ポスト・モダン、記号学の歴史等、幅の広いものであった。私にとって、特に興味深かったのは、Halliday の言語理論を分析のためのモデルとして、あるいは、社会の記号体系として、あらゆる言語活動の研究のために、応用し発展させていこうという野心的な研究方法の提示であった。

記号学の積極的な研究者である Thomas Sebeok (インディアナ大学) は、セミオシスとは何かという問題から始まって人間をとりまくあらゆる現象や物にまつわる記号としての機能の歴史と進化を、約4週間かけて講議した。Pierre Maranda は、ディスコース分析や、その内容をコンピューターに入れる方法と練習を、受講生は、毎日2時間から3時間の特訓を受けていた。

分野が違えば、記号学といえどもその解釈と、アプローチは異なるが、これら研究会の基本的な考え方と態度は、すべての事柄や現象、そして創造物の中から従来の方法では見えなかった又は、認識できなかったような新しい意味と価値を発見していこうという努力が感じとられた。ちなみに、来年の第11回研究会 (ISISSS) は、インディアナ大学に於て、6月18日~30日までの予定である。使用言語は英語のみである。

視聴覚教材の効果的な使い方

水野 晴光

はじめに

本来、外国語教育はさまざまな価値や目的—知識的訓練、教育的価値、文学鑑賞など—を持っているが、この目標を実現するためには外国語の運用力 (performance) の獲得が前提となる。そこでコミュニケーションに必要な4技能と文化的知識の習熟を効果的に達成するために視聴覚教材・機器をどのように使ったらよいかという観点から述べてみたい。

2. 視聴覚教材・機器の長所と短所

現在、外国語教育で最も広く活用されている視聴覚教材・機器 (メディア) はテープレコーダーやビデオ、スライド映写機、OHPなどであるが、これらの機器はいずれも拡大性と提示の反復機能を持っている。すなわち画像や映像を拡大して映写したり、音声を拡大したりするばかりでなく、肉眼では見ることでできないミクロの世界も惑星の表面をも色つきでスクリーンの上にはっきりと映し出すことができる。さらに、教師が繰り返し発音したり、説明したりする手間を省き、何度

でも同じ発音を反復したり、正確に内容を提示することができる。

この二つの共通した機能以外に、それぞれのメディアに固有な機能がある。すなわち、LLやコンピューター利用のCAI (Computer Assisted Instruction) 学習には「個別学習への適応性」がある。また画像が連続的に動くVTRや映画には「感情性」や「情緒性」があり、膨大な情報を満載するビデオ・ディスクには「分類と検索の瞬時性 (頭出し機能)」がある。

さらにスライド、カセットテープ、ビデオテープなどには「教材自作の容易性」などの長所があるといえる。教師はこのようなメディアの特徴をよくわきまえた上で、コミュニケーションにつながる言語活動を展開しなければならない。つぎの表は代表的なメディアの長所と短所を要約したものである。

メディア	長 所	短 所
V T R	映像の記録・保存が簡便 映像の即時再生が可能 教材の価格がかなり安価	大人数の視聴には不向き (拡大スクリーンが あれば問題なし)
スライド	自作教材が簡単にできる スライドが安価にできる 投影時間の調節が容易 プレイバックが容易 画質が鮮明である	教室を暗くせねばならない フィルム面が汚れ易い 湿気に弱い
O H P	明るい教室で投影可能 画像を学習者に対面し たまま提示できる TPを重ねて使用可能 提示に時間を取らない 画面を自由に動かせる	投影機は運搬に不便 拡大が十分できない 色彩が限定される 情報量が限定される (但しこれは長所にもなる)
カセット テープ レコー ダー	再生・録音が簡便 小型になり運搬に便利 機器故障の心配が僅少 テープは安価である	必要な箇所を見つける のが容易でない 映像が利用できない

3. 視聴覚教材の使い方

上で述べたように、メディアの中でとりわけ長所の多い教材はビデオである。そこで次にビデオを使う際のテクニックを紹介する。最近、BBCはビデオを教材の重要な部分に位置づけている。[ENGLISH TEACHING WITH VIDEO]はビデオを使った指導法を分かりやすく紹介している。

授業でビデオを使う際に是非知っておきたい心得を次にあげる。

(1) 無声の画面を見せる

体の動きや顔の表情が十分であれば、音が聞えなくてもある程度会話のやり取りを想像することができるので、場面や登場人物の関係を推定させることにより、学習者の推量をひきだすことがで

きる。

(2) 登場人物の考えていることを言わせる

話手が、口で言っていることと別のことを考えている場合、テープを聴いたり、テキストの会話を読んだりしただけでは分らない。しかし、映像があると、表情や動作から話手の心情がわかる。

(3) 登場人物の感情を推理させる

ビデオを見せる前に、怒り、驚き、疑問、不賛成などいろいろな感情表現をプロミネンスやイントネーションを変えて練習させておき、登場人物の感情を推理させると、効果的な学習がなされる。

ある場面を二三回見せ、特定の所で画面を静止状態にして、次に登場人物がどんな言動をするかを考えさせる。この方法は、学習者に絶えず刺激を与え、教室の言語活動が活発になる。

(5) 場面を描写させる

クラスを半分に分けて、一方にビデオを見せ、他方は画面が見えない状態にしてその場面で何が起こったのか描写させ、画面を見たグループにその描写が正しいかどうかチェックさせることにより、言語活動が促進される。

(6) 静止画像を使う

静止画像は何十、何百ものパネルやスライドの役割を果たす。最近では重要な場面の画像をハードコピーにして取り出すこともできるようになった。

(7) 話題を選ばせる

テレビ番組の予告編やドキュメンタリーの冒頭を見せてクラスでディスカッションさせて導入に使うことができる。

(8) ロール・プレイをさせる

登場人物の動作や話ぶりをモデルにしてペア・ワークなどでロール・プレイをさせることにより fluency を会得させることができよう。

(9) 復習のために通して見せる

15分ぐらいのビデオを通して見たあと、感想や意見を述べさせることも重要な言語活動である。

★新着案内★

☆視聴覚資料

録音資料

Русский Язык для Всех
For and Against
英会話決まり文句1200
英検準一級一次試験対策カセット
英検準一級二次試験対策カセット
話せる聞ける英語の音^{リスム}
TOEICリスニングの徹底対策
Linguaphone : Corso d'italiano

映像資料

Follow Me
Sherlock Holmes and Doctor
Watson : The Case of Ma-
gruder's Millions
Der Ring des Nibelungen
Mauvais Sang
ドイツ・青ざめた母
モーツァルト青春への旅路
情事の報酬
リリーマールレーン
Hitler
Stilts
チップス先生さようなら
ストーカー
The Graduate
Le Petit Prince
True Stories
My Fair Lady
La Muerte del Ché Guevara
Los Olvidados
ABCをおぼえよう
3匹の子ブタほか2編
オオカミと子やぎほか2編
パリ、テキサス
ジュリアス・シーザー
闇と沈黙の国
小人の饗宴
山の焚火

黒い稲妻
哀愁のトロイメライ
後宮からの逃走
死刑執行人もまた死す

継続資料 (録音資料)

Active English 1988 6月号～

☆図書

汉字信息处理
中國語學 (1987年 234號)
英汉财经词典
中國古文字學通論
古代散文鉴赏辞典
中国农谚 上册
新平方言志
王力先生紀念論文集
王力文集 4・5
异体字手册
漢字古音手册
宋诗鉴赏辞典
中国现代语文教育发展史
中國聲韻學大綱
文言语法三十辨
古代汉语特殊句法
新编修辞学
教学语法系列讲座
中国语法学论文类索引
蒙古字韵校本
汉语倒排词典
汉字形声归类新字典
简明汉语反义词典
小学词语六用词典
多音字分讀研究
文言语法
汉语动词概述
日语副词分类词典
语言学概要(修订本)
中学实用语文词典
説文解字六書疏證 (1～8)
初中语文词语手册

國語語法研究

辞书论集
汉语史论集
汉字学
句段分析
英漢辭海
漢語方言學
中国语法学史稿
文字问题
韻鏡研究
訓話學綱要
汉字的科学研究
汉语语法问题
语文近著
古代汉语简编 上・下
歇后语大全 (1～4)
拉丁化新文字运动的始末和编年纪事
苗瑶语方言词汇集
马氏文通研究资料
校讐通義通解
修辞学词典
Тибетско-русско-английский словарь
с санскритскими параллелями
Dictionnaire Étymologique de L'A-
ncien Français. G5
Энциклопедия молодой семьи.
Ukrainian-English Dictionary.
Географический энциклопедический
словарь. Понятия и термины.
Их именами названы... :
Энциклопедический справочник.
Словарь Физиологических терминов.
БРЕСТ. Энциклопедический
справочник.
Словарь трудностей русского языка.
Русско-английский словарь

☆お知らせ☆

「学術研究調査費」の利用を御希
望の方は、外語研究センターまで申
し出て下さい。